

くらしの不安、若者、子育て世代の願いを届けて 対案しめし、はっきり発言、しっかりチェック

**日本共産党
佐藤まさゆき**

昨年7月、参議院選挙で躍進した日本共産党。「自共対決」の新しい時代を迎えました。佐藤まさゆき県議は、自民党政治への批判を託せる唯一の県政野党として、しっかりと議員の仕事をしています。その活躍を紹介します。



**世論と運動、
草の根の共同の力で願い実現へ**

○**子どもの医療費、窓口無料化の声を議会の総意に**
住民運動と道理ある論戦で県議会を動かす、市民団体の議会請願(2011年6月県議会、2012年6月県議会)を全会派一致で採択。議会の総意を「実施にうつせ」と、何度も行政に迫ってきました。

○**住宅リフォーム助成制度の実施に前向きな答弁**

仕事と雇用を増やし、経済波及効果が10倍20倍の住宅リフォーム助成制度。業者団体の切実な訴えを届け、建設的提案を繰り返し、前向き答弁を引き出しました。

住宅リフォーム助成制度の実現が、津幡町はじめ県内の4自治体に広がり、零細業者はとて喜んでます。県の制度を実現することが待ち望まれています。
石商連会長 加藤忠男

**志賀原発の再稼働ノー石川から
「原発即時ゼロ」を毎議会発信**

原発の新安全神話に浸る北陸電力の隠蔽体質は、志賀原発直下の断層(S1)などの調査や、結果発表でも明白です。「原発の安全対策は国の二元的管理」などと繰り返す県の姿勢を批判。国言いなりの原発行政の転換を求めて対案をしめし、県独自の「原子力安全専門委員会」の設置が実現しました。

○**専門家・住民団体の現地調査に加わって提案**

志賀原発30キロ圏内15万人の避難計画の問題点を指摘。実効性ある避難計画を要求しました。

○**再生可能エネルギーへ抜本的に転換**

自然エネルギーの可能性は原発の40倍。新たな産業を育成、地元への雇用対策を提案しました。



断層調査の説明を受ける 佐藤まさゆき県議

**オール与党県政
他会派
ここが問題!**

不要不急、問題のある事業を容認、後押し…。
くらし応援の財源は主な事業を見直し、税の使い方を切り替えて

平成26年度予算【事業費総額】

金沢港大水深岸壁など [金沢港(重要)整備事業費 711億円]	6億9,400万円
大企業立地補助金など [県市町合計で最大50億円補助]	1億6,700万円
小松・白川連絡道路など道路関連 [白山トンネル部分総工費 1,700億円]	11億8,100万円
辰巳ダム(維持費)	9,100万円

**県民の暮らしをかえりみず
議員1人100万円の
公費使って海外視察…**

議員任期中(4年間)の海外視察費は1人100万円。今期(2011年6月~2014年3月)までに7回、延べ45人、総額2,600万円近くを支出しています。

日本共産党は中止を主張—。
佐藤まさゆき議員は一度も参加していません。

	平成24年6月定例会	共産	自民	新進	清風	公明	その他
志賀原発の再稼働に反対する請願	○	×	×	○	×	×	×
	平成26年2月定例会						
県住宅リフォーム助成制度の創設を求める請願	○	×	×	×	×	×	×

(請願に対する各会派の態度：○は賛成、×は反対)



6・1国際子どもデー
**子どもの医療費完全無料化の
すみやかな実施を!!**
新日本婦人の会石川県本部

県民の願い
とどける「かけ橋」

日本共産党
佐藤まさゆき
予算組み替え
を要求

請願提出の紹介者議員会派の件数
ダントツのトップ!
2011年5月~2014年2月議会
日本共産党 **84件 (89.4%)**
他会派議員紹介者合計17件
注: 請願1件の紹介議員が複数のときは会派別各議員1件で集約。

**くらし応援、
医療・福祉・教育を最優先に**

- 県水の単価引き下げ、水道料金の値下げ実現へ**
水道企業会計は黒字…。
消費税増税の県水料金への転嫁分の撤回が可能です。
- 国保税(料)の1世帯1万円引き下げ**
16億円の予算確保ができます。
国にも国保会計への補助増額を求めます。
- 3億3千万円で子どもの医療費窓口無料に**
医療費助成制度は中学校3年まで拡充を求めます。
- 30人学級を小中学校全学年で**
必要な先生を(887人)確保する予算は74億円。
雇用を増やし、臨時教職員の待遇改善を提案します。
- 返済不要の給付制奨学金制度を**
家計が大変な生徒・学生の支援制度を充実。
勉学条件の改善と負担軽減を求めます。

北陸新幹線金沢開業
持続可能な「IRいしかわ鉄道」へ
通学定期代の5年間すえ置きを実現

北陸新幹線金沢開業にともなう経済波及効果はプラスマイナスでメリットが121億円程度。北陸線・七尾線を守り、通勤・通学者の足と安全の確保、持続可能な地域鉄道をめざし、利用者・住民の声を積極的に提案。金沢・倶利伽羅間の通学定期代をすえ置くことになりました。